



日野市立日野第四中学校 学校便り

令和6年6月17日発行

校長 小島 幸子

〒191-0065 東京都日野市旭が丘2-4-2

TEL042-583-3905 fax042-583-3915

『一人では手にすることができない、豊かな泰花祭体育の部になりました』

日野市立日野第四中学校

校長 小島 幸子

6月1日は、生徒たちの体育の部への一生懸命な気持ちが届いていたかの
ように、泰花祭体育の部当日は、時々涼しい風が吹く、爽やかな気候となりました。



スローガンは『勇往邁進』

当日は朝早から、体育大会実行委員をはじめ、サッカー部と陸上部、各専門委員会の係の生徒たちは、自分の持ち場だけでなく、手が足りていないと気づくと自分の持ち場以外の準備も手伝ってくれる人の姿がありました。

また、自分の色団やクラスのためだけでなく、他の色団や学級への声援や応援が一日中聞こえ、思いやりにあふれ、正々堂々と競い合い、まさにスポーツマンシップに則った取組となっていました。

生徒一人一人が自分の競技に力いっぱい参加し、見ている人たちに感動を与えました。

この日、3年生がリーダーとなり、学校行事を全校生徒みんなでどのようにして作り、楽しんでいくことができるのかを1、2年生に示し、最上級生としての頼もしい姿を見せてくれました。

行事を成功に導くためには、一人一人の個々の力を一つに集め、全員の力として動くことが必要です。集団にとっては皆が一律に大切な存在なのです。

これからの四中の発展への財産となりました。うれしいことです。

今年度も、PTA様には受付、配信等、オヤジの会様にはサッカー部員とタープの設置や安全のための巡回等をしていただき、一日中お世話になりました。また、保護者様や地域の方々には、生徒たちへの温かい声援をいただき、生徒たちは安心して演技をすることができました。ご支援、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

令和6年度 第50回泰花祭体育の部 実行委員長 塚本 悠珠稀

今回の体育の部で私が実行委員長として感じたことは、「団結力」でした。一年生は初めての、二年生は二回目の、三年生は中学校生活最後の体育の部でしたが、チームで何かをする時には「団結力」が大事だと思います。

実行委員は体育の部の期間は朝が早く、放課後には残って準備などがあり、休憩する時間がほとんど無く、疲れがたまって挫けそうになったこともありました。しかし、そんな時には副実行委員やクラスみんなが実行委員を支えてくれました。そのおかげで、最高の泰花祭体育の部を作り上げられたと思います。このことから、みんなで心をつなげて物事に取り組むことの重要さや、団結すればたとえ難しいことも成し遂げられるということを学ぶことができました。

実行委員長という立場を経験し、泰花祭は本当に多くの人に支えられているということが分かりました。私たちは支えてくださっているみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。また、競技中は、まだゴールしていない団を他の団の人も応援する姿があるなど、私たちは「絆」という大きな物を手にすることができました。今回の体育の部の経験を生かして、どの学年も団結力のある良い学年になるとと思います。また、物事に対する取り組みの姿勢も大事であるということも実感させられました。

六月一日に行われた泰花祭体育の部本番までご指導頂いた先生方、応援して下さった地域、保護者の皆様、本当にありがとうございました。感謝の気持ちを心に刻み、残りの学校生活を送っていきたいと思います。第50回という節目の泰花祭体育の部実行委員長になれて、本当に良かったです。

【運動会の様子】

1 年学年種目：台風の日



2 年学年種目：Jumpion



3 年学年種目：Jumpion Returns



色別対抗大縄跳び



6月10日（月） セーフティ教室

テーマ

『携帯電話、スマートフォン利用時における
ネットルールについて』

講師：日野警察署生活安全課少年係
スクールサポーター 小林 慎司 様

日野警察署の方を講師としてお招きし、SNS の利用を中心に、携帯電話やスマートフォン等でインターネットを利用する上で、犯罪被害やトラブルに合わないようするために中学生が知っておくべきことについて、動画教材等を使って分かりやすく教えていただきました。

☆学んだこと

- ・インターネットを利用するときには、様々な考え方を持つ人がいること、世界中の人が見ることができるという意識が必要。
- ・SNS 上では「なりすまし」に気を付ける。同じ年齢や同じ性別と偽って近づく悪い人がいる。
- ・顔写真などの要求にに応じてしまうと、要求がエスカレートし、脅迫に使われてしまうこともある。また、画像の GPS 情報から住所等を特定されてしまうことがあるので注意する。
- ・家庭でのルールを見直そう（スマートフォン等の利用方法について）。
例 ①携帯電話を自分の部屋に持ち込まない ②食事の時には操作しない 等
- ・友人間でもルールを決めたり、互いに気遣いをしよう。
例 ①夜 10 時以降は返信しない、書き込まない。 ②写真をアップするときには許可を取る
③人の悪口は書きこまない ④グループ外しをしない、退会するときには一声かける。

この機会に、スマートフォンや SNS の使い方について、家庭や友達と振り返ってみてください。

